

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-49591

(43) 公開日 平成10年(1998) 2月20日

(51) Int.Cl. <sup>8</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 17/60			G 0 6 F 15/21	3 3 0
G 0 9 F 27/00			G 0 9 F 27/00	C
H 0 4 M 3/42			H 0 4 M 3/42	Z

審査請求 未請求 請求項の数 2 F D (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平8-217922

(22) 出願日 平成 8 年(1996) 7 月30日

(71) 出願人 396014577

有限会社システムグローリー

愛知県名古屋市東区砂田橋3丁目2番

(71) 出願人 396006077

小木曾 節雄

愛知県名古屋市守山区大字小幡字二軒家8番地の1

(71) 出願人 396017006

株式会社プロンプト

愛知県名古屋市中区栄1丁目23番29号

(74) 代理人 弁理士 前田 勘次

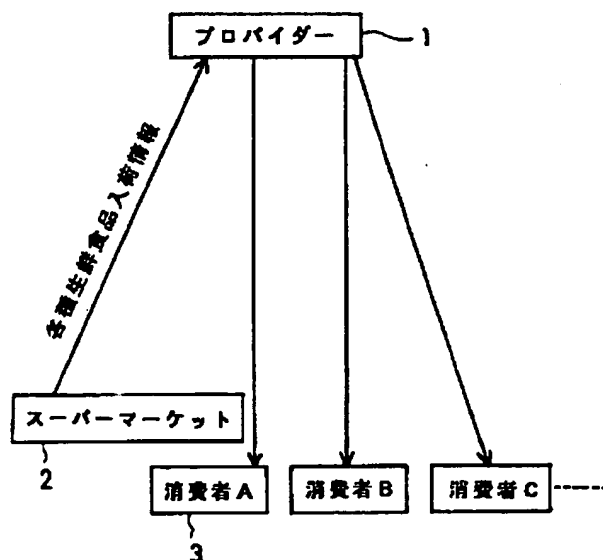
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 インターネット広告方法

(57) 【要約】

【課題】 インターネットを利用することにより、鮮魚の大量入荷等の最新情報を殆ど時間差なしで顧客に提供し、チラシ広告の作成時間を待つことによる弊害を除去でき、リアルタイムに新鮮な情報を安価に提供できるインターネット広告方法を提供する。

【解決手段】 インターネットを通じてスーパーマーケット2の各種特売品情報を提供する。つまり、時々刻々と変わるスーパーマーケット2内での特売品の最新情報をコンピュータのホームページに掲載し、インターネットを通じて消費者3に伝えるものである。



**【特許請求の範囲】**

**【請求項1】** インターネットを通じてスーパーマーケットの各種特売品情報を提供することを特徴とするインターネット広告方法。

**【請求項2】** 前記インターネットのホームページの記載内容は随時追加、変更及び削除ができることを特徴とする請求項1に記載のインターネット広告方法。

**【発明の詳細な説明】****【0001】**

**【発明の属する技術分野】**本発明は、インターネット広告方法に関するものであり、特に、インターネットを通じてスーパーマーケットの各種特売品の価格等の宣伝広告をするインターネット広告方法に関するものである。

**【0002】**

**【従来の技術】**従来より、スーパーマーケットの宣伝及び広告には、紙面に印刷されたチラシ広告によるものがある。これらのチラシは、通常、新聞等の折込広告として利用されていることが多い。

**【0003】**また、テレビやラジオ等を通じて宣伝及び広告が行なわれたり、宣伝カーによる宣伝及び広告が行なわれることもある。

**【0004】**

**【発明が解決しようとする課題】**しかし、上記のように、チラシ広告による宣伝及び広告には、印刷等チラシ広告を作成するのに所定の時間が必要であるため、本来なら市場へ入荷しない値段は勿論、入荷されるのかどうかさえわからないはずの鮮魚や野菜等の情報を前もって入手する必要があるという不都合が生じていた。つまり、逆にチラシ広告に記載されている鮮魚や野菜等は、チラシ広告の作成依頼の時点では、既に入手されているか、または市場に入荷されていることを意味しており、チラシ広告に記載できる鮮魚や野菜等の鮮度品の情報には限界があった。

**【0005】**また、テレビやラジオ等を通じての宣伝及び広告では、生放送を利用することにより、リアルタイムに各種の情報を提供できるが、宣伝広告費が高価であり、利益率という点では必ずしも効率のよいものとは言えなかった。これは、宣伝カーによる宣伝及び広告の場合も同様であった。

**【0006】**そこで、本発明は、インターネットを利用することにより、鮮魚の大量入荷等の最新情報を殆ど時間差なしで顧客に提供し、チラシ広告の作成時間を待つことによる弊害を除去でき、リアルタイムに新鮮な情報を安価に提供できるインターネット広告方法の提供を課題とするものである。

**【0007】**

**【課題を解決するための手段】**請求項1の発明にかかるインターネット広告方法は、インターネットを通じてスーパーマーケットの各種特売品の価格等の宣伝広告をするものである。ここで、宣伝広告をする各種特売品に

は、林檎、みかん、バナナ等の果物や、レタス、セロリ、ピーマン等の野菜、鮮魚、肉等のスーパーマーケットで販売されているものなら何でもよい。

**【0008】**したがって、請求項1の発明のインターネット広告方法によれば、消費者は新聞広告を見る前にインターネットを通じて、必要に応じて最新情報を得ることができる。

**【0009】**請求項2の発明にかかるインターネット広告方法は、請求項1のインターネット広告方法において、インターネットのホームページの記載内容が随時追加、変更及び削除ができるものである。

**【0010】**したがって、請求項2の発明のインターネット広告方法によれば、請求項1のインターネット広告方法の作用に加えて、消費者は思いもよらぬ鮮魚の大量入荷に伴う特売品の情報等の刻々と変化する店内の特売品に関する最新の情報を入手することができる。

**【0011】**

**【発明の実施の形態】**以下、本発明の実施形態について説明をする。図1は本発明の一実施形態であるインターネット広告方法の宣伝広告情報の流れを示す説明図である。

**【0012】**図1に示すように、本実施形態のインターネット広告方法は、スーパーマーケット2及び消費者3とともにプロバイダー1との間でインターネットの契約を結び、スーパーマーケット2が開いたホームページに記載された宣伝広告を消費者3に提供するものである。つまり、スーパーマーケット2から提供される各種宣伝広告の内容は、消費者3がアクセスすることにより、矢印の方向に向かって流れ、プロバイダー1を通じて消費者3へと伝えられる。

**【0013】**続いて、具体的な宣伝広告の内容について説明する。図2は本発明の一実施形態であるインターネット広告方法のホームページの内容を示す説明図である。

**【0014】**スーパーマーケット2のホームページには、図2に示すような特売品リストが掲載されている。図2は5ページにまたがる特売品リストのうちの1ページ目であり、バナナ、ジャがいも、パパイヤ、トマト、柿、牛ロース及びパイナップルの各々の入荷予定日と値段が掲載されている。ここで、入荷予定日は予めわかっているもののみ掲載し、入荷予定日のわからない鮮魚等の場合は入荷日及び入荷時刻を掲載してもよい。また、鮮魚等のような入荷予定日のわからないものは、入荷されるごとに随時、特売品リストに追加したり削除したりしてもよい。つまり、本実施形態のインターネット広告方法では、時々刻々と変わるスーパーマーケット2内での特売品の情報を常に最新の状態で消費者3に伝えることのできる宣伝広告である。

**【0015】**また、上記のインターネット広告方法には、図3に示すような、他の情報を掲載してもよく、単

に消費者3に物品等を販売するための広告にとどまらず、各種情報を提供するサービスを行ってもよい。図3は本発明の一実施形態であるインターネット広告方法の図2に続くホームページの内容を示す説明図である。

【0016】図3は本実施形態のインターネット広告方法に、毎日日替わりで掲載される各種料理方法の紹介をするコーナーである。図3に記載してある内容はスイートポテトの調理法である。例えば、本日の夕食の「おすすめ献立」と題して、料理とその作り方を紹介し、消費者3に情報サービスするとともに、その料理の食材をインターネット特売コーナーとして全て揃えることで、消費者3にとっては手早く買物ができ、スーパーマーケット2にとってもセット販売が可能になる。

【0017】このように、本実施形態のインターネット広告方法は、時々刻々と変わるスーパーマーケット2内での特売品の最新情報をコンピュータのホームページに掲載し、インターネットを通じて消費者3に伝えるものである。

【0018】したがって、本実施形態のインターネット広告方法は、消費者3が新聞広告を見る前にインターネットを通じて、消費者3は思いもよらぬ鮮魚の大量入荷に伴う特売品の情報等刻々と変化する店内の特売品に関する最新の情報を簡単に入手することができる。このため、供給側であるスーパーマーケット2と消費者3との間に十分なコミュニケーションがとれ、消費者3側には知っていれば購入していたのに知らなかったために購入できなかったという問題が発生せず、供給側であるスーパーマーケット2には各々の消費者3の商品を購入する可能性を略上限にまで拡大することができる。

【0019】また、通常パソコン等のコンピュータを使用する機会が殆どなく、パソコンに熱中する家族の者に対して理解の少ない主婦自らが、コンピュータを使用して買い物をすることにより、コンピュータに熱中する家族の者に対しての理解を深めることができ、日用生活用品としてのコンピュータの地位がより確実なものとなる。

【0020】なお、宣伝広告をする各種特売品には、林檎、みかん、バナナ等の果物があるが、レタス、セロリ、ピーマン等の野菜、鮮魚、肉等スーパーマーケットで販売されているものなら何でも構わない。

【0021】また、上記説明では、ホームページに掲載する書式は、図2及び図3に示すような書式に限定されるものではなく、どのような書式としても構わない。

【0022】さらに、上記説明では、インターネット広告にかかる費用は、スーパーマーケット2が負担してもよいが、各種生鮮食品等の納品業者が負担しても構わない。

【0023】この他、パソコンをスーパーマーケット2

の店頭にも設置しておけば、パソコンのない消費者3も、店頭のパソコンで特売品や商品情報を知ることができるとともに、夕食の献立情報等を得ることができる。

【0024】ところで、スーパーマーケット2が提供する情報は、必ずしも上記説明の内容に限定されるものではなく、例えば、インターネット利用の消費者3の中から抽選で「買物券」プレゼントしたり、インターネット利用により当日あるいはタイムサービスの御知らせや買物割引券を発行したり、会員制にして会員番号を入力してもらい特典付企画を組んだり、一週間の売れ筋商品ランキングを発表したり、自慢の独自商品のPRをしたり、消費者3からの意見、要望を24時間受付、それを商品販売に活用する等々、インターネットを使っているような企画を提供することができる。

【0025】なお、上記説明では、インターネットを通じてスーパーマーケットの各種特売品情報を提供する場合について説明したが、必ずしもスーパーマーケットに限定されるものではなく、スーパーマーケット以外に百貨店や、ディスカウント店、各種量販店等にも当然応用できる。

【0026】

【発明の効果】以上のように、請求項1の発明のインターネット広告方法は、消費者は新聞広告を見る前にインターネットを通じて、必要に応じて最新情報を得ることができるので、欲しいものの特売日を逃して悔しい思いをすることがない。

【0027】請求項2の発明のインターネット広告方法は、請求項1のインターネット広告方法の効果に加えて、消費者は思いもよらぬ特売品の情報等、刻々と変化する店内の特売品に関する最新の情報を入手することができるので、供給側であるスーパーマーケットと消費者との間に十分なコミュニケーションがとれ、消費者側には知っていれば購入していたのに知らなかったために購入できなかったという問題が発生せず、供給側には各々の消費者の商品を購入する可能性を略上限にまで拡大することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施形態であるインターネット広告方法の宣伝広告情報の流れを示す説明図である。

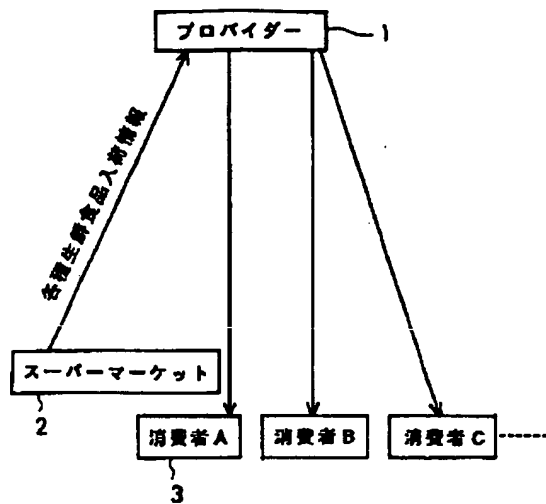
【図2】本発明の一実施形態であるインターネット広告方法のホームページの内容を示す説明図である。

【図3】本発明の一実施形態であるインターネット広告方法のホームページの他の内容を示す説明図である。








【符号の説明】

- 1 プロバイダー
- 2 スーパーマーケット
- 3 消費者

【図1】



【図2】

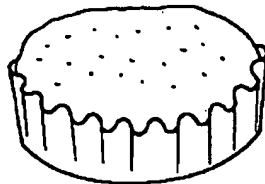
スーパーグローリー 特売品リスト 1/5ページ	
入荷予定日 8/1  バナナ 1kg ¥50	入荷予定日 8/1  柿 5個 ¥200
入荷予定日 8/1  ジャガイモ 1kg ¥100	入荷予定日 8/1  キーロス 1kg ¥1000
入荷予定日 8/8  パパイア 1個 ¥100	 パイナップル 1個 ¥100
入荷予定日 8/2  トマト 5個 ¥100	

【図3】

スーパーグローリー  
日替り料理教室  
本日のテーマ  
「スイートポテト」

## 用意するもの

さつまいも 300g  
 バター 40g  
 砂糖 70g  
 卵黄 2個分  
 牛乳 100cc  
 バニラエッセンス 少々  
 シナモン 少々



## 作り方

1. さつまいもにラップをかけて電子レンジで5分間加熱する。
2. さつまいも、バター、砂糖、卵黄、牛乳をミキサーまたはフードカッターに入れてよく混ぜる（なめらかになるまでよくかき混ぜる）。
3. しあけにバニラエッセンスとシナモンを入れて混ぜる。
4. フルミカップに小分けして移し、200°に温めたオーブンで15分から20分くらい焼くと出来上がり。

フロントページの続き

(72)発明者 室井 勝美

愛知県名古屋市東区砂田橋3丁目2番 有  
限会社システムグローリー内

(72)発明者 小木曾 節雄

愛知県名古屋市守山区大字小幡字二軒家8  
番地の1